

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)相模大野7丁目土地利用計画	階数	地上4F
建設地	相模原市南区相模大野7丁目3662-1、-2	構造	S造
用途地域	準工業地域、都市計画区域	平均居住人員	117人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	学校、病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年3月 予定	評価の実施日	2018年6月1日
敷地面積	1,757㎡	作成者	大和ハウス工業株式会社
建築面積	1,031㎡	確認日	2018年6月1日
延床面積	3,558㎡	確認者	大和ハウス工業株式会社



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.0**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.8**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.8

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.5

**LR のスコア = 3.1**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.2

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.1

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.9

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b>	限られた敷地内において出来る限りの緑地や園庭の確保に努め、施設利用者が自然に親しめるよう配慮した	その他 特になし
<b>Q1 室内環境</b>	開口部遮音性能: T-2とし、音環境の向上を図っている	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 外構緑化指数 20%以上を確保
<b>Q2 サービス性能</b>	耐用年数の長い部材を採用している	
<b>LR1 エネルギー</b>	断熱材を使用し建物の熱負荷抑制に考慮している	<b>LR3 敷地外環境</b> 自転車置き場や駐車スペースを確保し、周辺への交通負荷抑制に配慮している
<b>LR2 資源・マテリアル</b>	グリーン購入法適合商品を積極的に採用している	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される